

2025年度

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会

別添集

- | | |
|-----|------------|
| 別添1 | 開催要領 |
| 別添2 | 申込方法および諸注意 |
| 別添3 | カリキュラム |

社会福祉法人 全国盲ろう者協会

**2025年度
盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会
開催要領**

1. 目的

本研修会は、盲ろう者の自立と社会参加を図るために、全国各地で開催される「盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会」において、指導者(講師)として携わる者を養成することによって、盲ろう者の福祉の促進に寄与することを目的とする。

2. 主催

社会福祉法人 全国盲ろう者協会

3. 開催方法

オンライン研修3日間、及び対面研修2日間の受講に加えて、研修前及び研修中に課題を提示する。

4. 日程・場所

下記の計5日間。

- 1日目 7月12日(土) オンライン
- 2日目 7月13日(日) オンライン
- 3日目 8月23日(土) 対面
- 4日目 8月24日(日) 対面
- 5日目 9月21日(日) オンライン

※オンライン:ズームを使用。

※対面:全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1

電話 03-3204-3611

5. 受講対象者

下記の要件を満たす、盲ろう者又は非盲ろう者。

- ・各地域で盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会の指導に携わる者及び近い将来指導に携わる見込みのある者のうち、都道府県・指定都市・中核市障害保健福祉主管課長の推薦のあった者(推薦書様式:別紙4)
- ・非盲ろう者については、盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会の受講経験があり、現在、通訳・介助員として活動している者が望ましい。
- ・ズームに接続可能なパソコンを所有、または貸与を受けられる者で、且つ安定した通信速度(30Mbps以上を推奨)、及び環境(周囲の音が少なく、声が反響しない場所)を確保できる者。
- ・オンライン及び対面研修の全日程をリアルタイムで受講できる者。

6. 受講定員

20名程度

7. 研修内容

2025年度「盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会カリキュラム」(別添3)の通り

8. 受講料

無料

9. 修了証交付

全てのカリキュラムを受講し、事前および研修中に提示した課題を提出した者に対し、修了証を郵送により交付する。

10. 情報保障

全体手話通訳、パソコン要約筆記を配置する。(希望者がいない場合は、配置しない)
加えて、盲ろう者、視覚障害者、聴覚障害者については、(別添2)で示す支援体制・方法による情報保障を行うことを想定する。

11. 申込方法

「2025年度盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会 申込方法及び諸注意」(別添2)参照

12. 申込締切

2025年6月9日(月)12:00必着

※推薦書が間に合わない場合は、他の書類を先行して送付の上、後日提出すること。

13. 選考結果通知

受講申込者及び受講申込者の在住自治体に対し、郵送により、選考結果を通知する。

※受講決定後のズームの入室情報や課題提出先の情報等は、本研修会専用メールアドレス(本紙「14. お問い合わせ先」に記載)より、通知する。

14. お問い合わせ先

社会福祉法人 全国盲ろう者協会(担当:小林真悟、稲垣)

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町67番地 早稲田クローバービル3階

電話 03-5287-1140 FAX 03-5287-1141

メール yosei-seminar@jdba.or.jp

以上

**2025年度
盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会
申込方法及び諸注意**

1. 受講にあたっての留意点

本研修会は、盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会の「標準カリキュラム」の各科目（講義・実習）において、実際に講師を務めることができる人材養成を目的としています。

別添3で示したカリキュラムの通り、標準カリキュラムのうち、以下の4科目を重点的に取り上げるとともに、以下に示した研修前及び研修中に提示する課題に取り組んで頂きます。

- ◆ 本年度の研修カリキュラムにおける重点4科目 ◆

 - ・盲ろう者概論
 - ・盲ろう者の日常生活とニーズ
 - ・通訳・介助員の心構えと倫理
 - ・盲ろう通訳技術の基本

2. 課題

- 課題1: 受講決定時、上記の重点4科目から、当協会が割り当てた科目の講義を、自身が講師として担当すると仮定し、講義を行うための指導案を作成の上、提出すること。
(後述する手引書を参考にして頂きます)
※ 指導案の様式等については、受講決定時に連絡します。
※ 申込時に希望科目を選択して頂きますが、グループ分け等の関係で、ご希望に添えない場合があります。

- 課題2: 受講者の在住地域における、最新または直近の盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会のカリキュラム構成、時間数を調べること。

- 課題3: 受講者の在住地域における「通訳・介助実習」の進め方について、所定の様式を記入し、提出すること。

- 課題4: 対面研修でのグループ討議の結果を踏まえて、課題1で作成した指導案を見直した「見直し後指導案」を提出すること。

3. 対面研修内容

同じ指導案科目を割り当てられた受講者を一つのグループ(概ね5人程度)にまとめ、課題1として作成した指導案を基に、講義の組み立て、内容について議論する。加えて、受講者が在住する地域における、養成講習会に関する情報交換等を行う予定。

4. 使用教材

受講決定者には、受講決定通知とは別に、本研修会のテキストである『盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者のための手引書』を送付します。

また、研修会初日の1週間前までに「講師作成資料集」をお送りする予定です。

5. 申込方法

下記の書類に必要事項をご記入頂き、当協会まで郵送・FAX・メールのうち、いずれかの方法でお申込みください。

なお、締切日6月9日(月)12:00までに推薦書の手配が間に合わない場合は、先に推薦書を除いた書類一式を送付し、後日、推薦書を提出してください。申込書及び推薦書は、原本ではなく、FAX、メールでの提出でも結構です。

【盲ろう者】

- ・別紙1「2025年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会 受講申込書(盲ろう者用)」
- ・別紙3「志望動機記入書」
- ・別紙4「推薦書」<都道府県(指定都市・中核市)障害保健福祉主管課長からのもの>

【非盲ろう者】

- ・別紙2「2025年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会 受講申込書(非盲ろう者用)」
- ・別紙3「志望動機記入書」
- ・別紙4「推薦書」<都道府県(指定都市・中核市)障害保健福祉主管課長からのもの>

(お申込先)

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町67番地 早稲田クローバービル3階
社会福祉法人 全国盲ろう者協会 通介指導者養成係
電話 03-5287-1140 FAX 03-5287-1141
メール yosei-seminar@jdba.or.jp ※本研修会専用メールアドレスとなります。

6. 受講選考結果の送付について

6月20日(金)を目途に、申込書に記入頂く「選考結果の送付先」宛てに、受講選考結果を送付します。また、受講申込者の在住自治体に対しても受講選考結果を送付します。

なお、本研修会は全国各地より幅広く募集を行う関係上、定員を超えた場合、地域的な偏り等を考慮し、当協会で調整させて頂くこともございます。予めご了承ください。

また、受講申込をされたにも関わらず、6月25日(水)を過ぎても選考結果が届かない場合は、当協会まで必ずお問い合わせください。7月以降に選考結果に関するお問い合わせを頂いた場合は、対応いたしかねますので、ご注意ください。

7. 申込書の記入にあたって

申込書の各項目は必ずご記入ください。定員を超えた場合の選考および研修中の科目の割り振り・グループ分け等の参考にさせていただきます。

また、受講決定後の研修会に関するご連絡は、主にメールを利用しますので、本研修会の専用メールアドレス(本紙「5. 申込方法」に記載)からのメールを受信できるように設定したアドレスをご記入ください。メール利用が難しい方は、FAX、郵送での対応を承ります。

8. 情報保障について

8-1. 全体手話通訳の配置

- ・オンライン研修時は、全体手話通訳を配置します。(表示オン・オフを任意で選択できる方式を用います)
- ・対面研修時は、手話通訳を必要とする受講者が属するグループに、手話通訳を配置します。

8-2. パソコン要約筆記の配置

- ・オンライン研修時のみ、「キャプションライン」によるパソコン要約筆記を配置する。
- ・利用希望者は、ブラウザを起動して利用すること。その際、必要となる表示機器(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)は、受講者自身で用意すること。
- ・ズーム上でのパソコン要約筆記の表示は行わない。

8-3. 盲ろう受講者への情報保障

- ・盲ろう受講者は、地域の通訳・介助員派遣事業等を利用し、盲ろう者向け通訳・介助員を確保した上で、直接通訳を受けて受講する体制を想定しています。
- ・講義時間や情報量を考慮し、基本的に通訳・介助員は2名体制での受講を推奨します。
- ・課題作成時の通訳・介助員の謝金・旅費について、地元の派遣事業や自治体の別枠予算等での補助を受けることが困難な場合は、個別に当協会までご相談ください。
- ・受講当日に必要な通訳・介助員の謝金・旅費は、地元の派遣事業や自治体の別枠予算等での負担を検討ください。盲ろう者用受講申込書の4ページに、受講時の通訳・介助員の経費について記入頂く欄がありますので、補助を受けられる場合は、その内訳をご記入ください。

当協会が負担を希望される場合は「補助なし(協会が負担希望)」を選択してください。

- ・派遣事業や自治体の別枠予算等での補助を受けることが難しい場合は、当協会の規程に基づき、以下の内訳にて負担します。

●当協会の費用負担内訳

謝金: 1日最大2名まで×上限8時間×時給2千円(オンライン、対面共通)

交通費: 実費(オンライン、対面共通)

宿泊費: 上限10,900円まで(対面のみ)

8-4. 視覚障害のある受講者への情報保障

- ・視覚障害のある受講者は、受講者単独での受講を想定していますが、必要に応じてヘルパー(支援者)1名を配置し、視覚支援を受けながら受講することも可能です。
- ・ヘルパーが必要な場合は、受講者自身で手配をしてください。
- ・受講当日に必要なヘルパーの配置は、障害福祉サービスをはじめとする各種サービス、地元の養成事業や友の会等の予算での負担を検討ください。
- ・上記の補助を受けることが難しい場合は、当協会の規程(1日最大1名まで×上限8時間、時給2千円、交通費実費)に基づき、当協会が負担します。非盲ろう者用受講申込書の4ページに、受講時のヘルパーの経費について記入頂く欄がありますので、補助を受けられる場合はその内訳をご記入ください。当協会が負担を希望される場合は「補助なし(協会が負担希望)」を選択してください。
- ・課題の作成をする際のヘルパーについて、障害福祉サービスをはじめとする各種サービス、地元の養成事業や友の会等の予算での負担が困難な場合は、個別に当協会までご相談ください。

8-5. 聴覚障害のある受講者への情報保障

- ・本紙「8-1」および「8-2」で記載した方法にて、情報保障を行います。
- ・オンライン研修時の読み取り通訳は、当協会側で配置する全体手話通訳者にて、ズームを通して行います。

9. 受講者名簿の作成及び配付について

本研修会の運営を円滑に進めるため、受講者名簿を作成し、配付します。配布先は、受講決定者、講師、情報保障者です。また、名簿に掲載する項目は、申込書にご記入頂いた氏名、ふりがな、都道府県、障害種別、指導経験の有無、希望する情報保障とし、本研修会の運営に関わる場面以外の用途には、使用いたしません。

本研修会に受講申込をされる方は、上記の取扱いにつきまして、予めご承知おきください。

以上

**2025年度
盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会 カリキュラム**

(※カリキュラムや講師は変更になる場合があります)

1日目 7月12日(土) オンライン

10:00～10:40 開講式・オリエンテーション

10:50～11:30 標準カリキュラムの説明および全国の養成講習会の実施状況

講師:協会事務局

11:40～12:40 講師の基本(講義) 講師:三科聡子

12:40～13:40 昼食・休憩

13:40～15:10 盲ろう者概論(講義) 講師:小山賢一

15:20～16:50 盲ろう者の日常生活とニーズ(講義) 講師:村岡美和

16:50～17:00 事務連絡

2日目 7月13日(日) オンライン

10:30～12:00 盲ろう通訳技術の基本(講義) 講師:石井典子

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～14:30 通訳・介助員の心構えと倫理(講義) 講師:三科聡子

14:40～16:10 通訳・介助実習の進め方(講義・情報交換) 講師:小山賢一

16:10～16:20 事務連絡

3日目 8月23日(土) 対面

12:30 受付

12:45 オリエンテーリング

13:00～16:00 グループ討議1 講師:石井典子・小山賢一・三科聡子・村岡美和

16:30～16:40 事務連絡

4日目 8月24日(日) 対面

9:30～12:00 グループ討議2 講師:石井典子・小山賢一・三科聡子・村岡美和

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～15:30 グループ討議3 講師:石井典子・小山賢一・三科聡子・村岡美和

15:30～15:40 事務連絡

5日目 9月21日(日) オンライン

10:00～10:10 本日の進行についての説明

10:10～12:35 グループ討議を踏まえての見直し後指導案の発表及びグループ担当講師によるグループ討議の振り返り

講師:石井典子・小山賢一・三科聡子・村岡美和

12:35～13:40 昼食・休憩

13:40～14:25 (午前の続き)

14:30～15:45 質疑応答(途中、10分休憩あり)

15:45～16:00 閉講式・事務連絡